

# 平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター  
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）  
■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階  
■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555  
■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp  
■広島県原水禁 ホームページ <http://www.hiroshimaken-gensuikin.org/>  
ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No. 190

2016年  
10月号  
(10月1日)

発行責任者  
藤本講治

## ――目次――

- 1頁：10月の活動予定（10/1現在）  
2頁：平和運動センター幹事会・地区労代表者会議（9月23日）  
強行採決から1年 戦争法廃止！9・19行動  
3頁：地区労だより（安芸高田地区労組会議）  
憲法を守る広島県民会議2017年度総会開く（9月29日）  
4頁：北朝鮮の核実験に抗議する座り込み行動（9月9日）  
5頁：「9・22さようなら原発 さようなら戦争」大集会（9月22日）  
「2016 部落解放・人権政策の確立を求める第47回広島県民集会」開催される  
6頁：「アジア・アフリカ支援米」稲刈り（9月24日）  
新聞に見る「ヒロシマ」（8/26～9/23）  
7頁：ご案内〔中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い〕  
〔広島県平和運動センター第22回定期総会〕  
〔狭山事件の再審を求める市民集会〕  
〔広島朝鮮初中高級学校チャリティーコンサート・金剛山歌劇団広島公演〕

### 【10月の活動予定】

- 3日(月)14:00 平和運動センター会計監査＝平和運動センター事務所  
4日(火)15:30 原爆ドーム世界遺産登録20周年記念行事第1回実行委員会＝ワークピア広島  
18:15 ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会事務局会議＝JCJ事務所  
5日(水)17:30 高校生平和大使・高校生1万人署名活動実行委員会サポーター会議＝広教組会議室  
7日(金)10:00 私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部第24回定期大会＝広電支部  
8日(土)13:00 被爆二世相談日＝平和運動センター事務所  
10日(月)～12日(水) 沖縄・高江ヘリパット建設阻止現地闘争＝沖縄県  
13日(木)18:30 ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会世話人会＝広島弁護士会館  
14日(金)18:00 平和運動センター第11回常任幹事会＝平和運動センター事務所  
16日(日)13:30 中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い＝安芸太田町  
24日(月)17:30 平和運動センター第22回定期総会＝自治労会館

26日(水)18:30 「原水禁学校第1講座」＝自治労会館

28日(金)13:00 狭山事件の再審を求める市民集会＝日比谷野外音楽堂

## 平和運動センター幹事会・地区労代表者会議(9月23日) ＝10月から「原水禁学校」を開催します＝

9月23日、自治労会館において第10回常任幹事会・第5回幹事会・地区労代表者会議を開催しました。

開会にあたり佐古議長は「被爆71周年原水禁広島大会の開催にあたり、ご協力をいただいたことに感謝する。大会を通じて核絶対否定が改めて確認できた。そうした中、北朝鮮が5回目の核実験を実施した。核武装で国力を維持しようとすることは許されないことだ」と訴えました。



会議では、戦争をさせない1000人委員会の取り組み、第19代高校生平和大使活動支援の取り組み、北朝鮮核実験抗議の行動、「9.22 さようなら原発 さようなら戦争大集会」の参加などの報告を行いました。協議事項は、①10月24日に開催する平和運動センター第22回定期総会の開催召集について。②次期役員体制について、地区労ブロックからの幹事選出を見直していく。③第53回護憲大会(富山市)の参加体制。④広島県原水禁の運動の歴史に学びながら、将来の担い手づくりを進めるため10月から来年2月にかけて原水禁学校を開催する。⑤広島朝鮮初中高級学校チャリティーコンサート「金剛山歌劇団広島公演(11月14日)」への協力などを確認しました。

各構成組織におかれては、単組の大会など秋闘の時期となりますが平和運動センター定期総会の成功に向け、ご結集いただきますようお願いいたします。

### 「原水禁学校」講座内容(18時30分～ 自治労会館)

- ・第1回 10月26日(水) 原水禁運動の歴史に学ぶ
- ・第2回 11月19日(土) 被爆体験をどう継承するか  
※似島現地学習…9時30分～
- ・第3回 12月 2日(金) 世界の核被害者
- ・第4回 1月27日(金) 核兵器廃絶と日本の役割
- ・第5回 2月 日( ) 福島原発事故と脱原発運動

## 強行採決から1年 戦争法廃止! 9・19行動 ＝私たちは戦争法強行の9月19日を忘れない＝

安保関連法(戦争法)が強行採決された昨年の9月19日から、まる一年が経った9月19日、「戦争をさせないヒロシマ1000人委員会」は、19日行動として広島市本通り電停・青山前において60人が参加して、「戦争法の廃止、9条守れ!」とチラシ配布、宣伝活動を行いました。

毎月行っている「19日行動」は、市民団体のみなさんと共同行動として取り組んでいる「ストップ!戦争法ヒロ



シマ実行委員会」で今後の取り組むべき課題について整理したうえで、総がかり行動を  
取り組むこととします。

## 地区労だより【安芸高田地区労組会議】

### ＝脱原発社会をつくるために＝

安芸高田地区労組会議では、毎年、夏の非核平和行進を中心に、本組織の目的の「民主主義を擁護し、自由、平等、公平で平和な社会の建設」に向けて活動を進めています。

今年の平和行進は延べ18名で、7月31日から8月1日に炎天下の中、安芸高田市内を歩きました。このたびは、数年間平和行進の取り組みが中断している安芸太田地区労の皆さんもこの行進に参加し、「核も戦争もない平和な21世紀に！繰り返すな原発震災！めざそう脱原発社会」と沿道の皆さんにアピールしました。

また、山口県の上関原発をめぐる公有水面埋め立て許可をこの8月3日に山口県知事が出したことから、上関原発建設予定地や祝島の方たちの反対運動をめぐる現地研修も含んだ勉強会を8月18日に開催しました。もしこの原発が完成したなら、豊かな自然に原発で温められた水が排出されて生物の生息環境を破壊しますし、事故が起これば福島同様、瀬戸内の農産物や海産物が汚染されることとなります。奇跡の海とも言われる建設予定地「田ノ浦」の多様な豊かな自然の勉強を通じて、私たち大人の責任で、新たな原発建設は絶対阻止しなければならない意思を深めました。年内には、「上関の自然を守る会」代表者の高島美登里さんをお招きして学習会を開催する予定です。

(安芸高田地区労組会議事務局長 倉田英治)



## 憲法を守る広島県民会議2017年度総会開く(9月29日)

### ＝憲法を破壊する安倍政権の暴走を止めよう！＝



9月29日、自治労会館において63人が参加して「憲法を守る広島県民会議2017年度定期総会」を開催しました。

開会にあたって県護憲佐古正明代表委員(平和運動センター議長)は、「今臨時国会では、TPPの早期承認、労働基準法の改正や憲法審査会設置など重要法案が審議される。私たちは、貧困・格差問題、人として生きる権利、憲法を活かす取り組みを行わなければならない。戦争法廃止の闘い、中央の戦争をさせない1000人委員会の動向をみながら、今後の取り組みに備えていきたい」とあいさつしました。その後、2016年度の活動報告・会計報告の承認。そして、秋季から春季にかけての護憲運動など2017年度活動方針と2017年度役員体制を決定して閉会しました。

総会後の学習会は、「日本における人権、民主主義、立憲主義、平和主義を取り戻そう」と題して平和フォーラム勝島一博事務局長から講演を受けました。勝島さんは、『憲法「改正」を進める安倍政権と平和フォーラムをはじめとした護憲勢力の改憲阻止の闘いが正念場を迎えている』訴えました。



# 北朝鮮の核実験に抗議する座り込み行動（9月9日）

## ＝核兵器廃絶広島平和連絡会議＝

北朝鮮は、9月9日午前9時30分ごろ5回目の核実験を実施したと報じました。

原水禁、平和運動センターなどで構成する核兵器廃絶広島平和連絡会議は、被爆地ヒロシマの「核兵器廃絶と世界の恒久平和」への思いを踏みにじる到底許せない行動であるとして、85人が参加して原爆慰霊碑前で抗議の座り込みを行い、北朝鮮政府に対して強く抗議を示しました。



### 朝鮮民主主義人民共和国の「核弾頭の爆発実験」に 強く抗議するとともに、国際的対話を求める（原水禁声明）

本日(9月9日)、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が「北部の核実験場で新しく研究・製作された核弾頭の威力を判定するための核爆発実験」を実施したと朝鮮中央テレビが報じました。2006年10月9日の最初の核実験から数えて5回目となる核実験で、東北アジア地域の緊張をさらに高め、世界平和の脅威となるもので決して許されるものではありません。

原水爆禁止日本国民会議(原水禁)は、ヒロシマ・ナガサキの悲惨な現実と向き合い、核兵器廃絶のとりくみをすすめてきたものとして、ここに北朝鮮政府に対して強く抗議するものです。

報道では、北朝鮮政府は「小型化、軽量化、多種化されたより打撃力の高い各種の核弾頭を、必要な時に必要なだけ生産できる」と核弾頭の開発を誇示しています。この核兵器の非人道性を省みず、核兵器能力の向上をはかる北朝鮮政府の姿勢は、国際社会の強い非難をあびるものです。原水禁は、北朝鮮政府に対して直ちに核兵器開発を放棄するよう強く求めます。

一方、日本政府は「独自の措置および国連安保理決議にもとづく措置を着実に実施をしてきていたが、さらなる独自制裁は考えていきたい」としています。しかし、日本政府が米国の核の傘に依存し続けていることや、さらに通常兵器にまで核兵器による抑止を求めて米国の先制不使用宣言に反対していることも事実です。朝鮮戦争は休戦協定により、武力衝突は一旦終了したものの、北朝鮮と米国は停戦状態のまま、米韓合同軍事演習も実施されています。そのことが北朝鮮を国際社会から孤立させることにつながり、東アジアの平和への大きな脅威をつくりあげています。米国政府及び国際社会は、北朝鮮に対する制裁措置を強化することなく、昨年10月1日に国連総会で行った北朝鮮の李洙墉(リ・スヨン)外相の「朝鮮戦争の休戦協定を平和協定に転換するよう米国にあらためて要求する」とした一般討論演説に対して真摯に対応し、その実現に向けた対話を開始すべきです。

原水禁は、日本政府自らが核の先制使用をも含んだ核抑止による安全保障政策を放棄し、東北アジアの非核化に向けた被爆国としての真摯なとりくみに着手することを強く求めます。また、北朝鮮に対して核政策の放棄を求めるとともに、米国政府に対して北朝鮮政府の主張に真摯に耳を傾け、二国間及び六か国間の国際的対話をつくりだす努力を強く求めます。

2016年9月9日

原水爆禁止日本国民会議  
議長 川野 浩一



## 「9・22さようなら原発 さようなら戦争」大集会(9月22日)

＝福島を繰り返すな！ 原発再稼働ゆるさん！＝

福島原発事故から5年半が経過、さらに安倍政権による戦争法強行採決から1年となった9月22日、東京・代々木公園で「さようなら原発さようなら戦争」大集会が開催されました。降りしきる雨の中でしたが全国から9,500人が参加し、原発を止め、戦争を止める決意を新たにしました。(広島から2人参加)



集会は、呼びかけ人の澤地久枝さんのあいさつで始まり、福島原発告訴団の武藤類子さんや沖縄から辺野古新基地建設・高江ヘリパット建設反対の闘い、福井の宮下正一さんから高速増殖炉もんじゅの現状などの報告が行われました。集会後、デモ行進が行われる予定でしたが、雨のため中止となりました。

## 「2016 部落解放・人権政策の確立を求める 第47回広島県民集会」開催される(9月25日)

9月25日、福山市人権交流センターにおいて、約500人が参加して「2016 部落解放・人権政策の確立を求める第47回広島県民集会」が開催されました。

全体集会の中で、川崎卓志実行委員長(部落解放同盟県連委員長)は、「7月に相模原で起きた知的障害者施設で19人が刺殺された事件は、日本の人権状況を象徴している。いま起きているヘイトスピーチがこのような芽を内包しているという現実に向き合わなければならない」とあいさつを行いました。

福山市・枝広市長や連合広島山崎事務局長などの来賓あいさつ、基調提案の後、大阪大学大学院の木戸衛一准教授から「日本は今—平和と人権の視点から～ドイツと比較しながら～」と題した講演が行われました。

木戸さんは、「今の日本は戦前に近づきつつある。しかし、その中で市民連合を中心とした新たな平和運動が生まれたことも事実である。戦争法廃止の運動を継続し、野党共闘、市民連合のさらなる発展を行いながら、新たな戦前を食い止めなければならない」と話されました。

午後からは、「差別の実態と解放運動」「社会啓発」「解放教育運動」「解放思想と宗教」「平和・人権と連帯」の5つの分科会に分かれて、各地の取り組み報告と実践交流を行いました。第5分科会では、平和運動センター事務局長が部落解放広島県共闘会議の取り組みについてレポート報告を行いました。



# 「アジア・アフリカ支援米」稲刈り（9月24日）

＝実りの秋・親子連れで稲刈りを体験＝



平和運動センターは、9月24日、安芸高田市向原町において、「アジア・アフリカ支援米」の稲刈りを地元で農業を営む友井征治さんの協力を得て実施しました。5月21日に田植えをした水田は、友井さんの育成管理により黄金色に穂が実り、構成組合員やその家族ら52人でカマをもって刈り取りをしました。

稲刈りの始めに、平和運動センター佐古議長のあいさつ、協力農家の友井さんの紹介と全農林労働組合の役員から鎌の扱いを教わり、参加者は一株ずつをつかんで稲刈りを楽しみました。その後、向原町の女性のみなさんが調理した親子どんぶりやウインナーを昼食にいただいて、心地よい汗と実りの秋を感じました。引き続き、友井さんに乾燥調整・保管をいただき、来年3月ごろに援助国（カンボジア）へむけて送る予定になっています。

新聞に見る「ヒロシマ」(8/26～9/23)		
見出しから	日付	新聞
高校生平和大使 国連での活動報告	8.26	中国
原爆ドーム・厳島神社 世界遺産登録20年 写真展をPR	8.27	朝日
先制不使用反対 やめるよう要望 核廃絶へ広島市の団体	8.27	中国
若手職員 ヒロシマ学ぶ 平和首長会議 加盟都市の10人	8.27	中国
核廃絶願う「ピースマスク」被爆者・家族の参加募集	8.27	朝日
上関原発 工事妨害訴訟 和解へ	8.28	中国
もんじゅ廃炉も選択肢	8.30	中国
先生たちの被爆体験 若い世代に ドキュメンタリー映画完成	8.31	朝日
上関原発工事 中電、請求の全額放棄 反対住民と和解	8.31	中国
核の先制不使用 米の検討を歓迎 県主催の国際会議	9.1	朝日
広大な被爆建物「正面保存を」	9.2	朝日
爆発伴う核実験自制を 米が安保理決議草案	9.3	中国
「被爆者の思い 近づく」市民団体が原爆文学朗読会	9.6	朝日
廃炉後被曝線量 年0.01ミリシーベルト以下に	9.6	中国
「黒い雨」訴訟で 20人追加提訴へ 地裁で口頭弁論	9.8	朝日
雨域の範囲や健康被害訴え 「黒い雨」訴訟原告団	9.8	中国
監視時計リセット 広島原爆資料館	9.10	中国
核実験 憤るヒロシマ 平和公園で座り込み	9.10	中国
核のごみ 処分を考える 原子力発電環境整備機構 セミナー	9.13	中国
甲状腺ガン確定135人 福島原発事故影響18歳以下検査	9.15	中国

原爆症広島訴訟 早期認定求める	9.15	朝日
原爆の悲惨さ 詩で描く 山中さんの詩歌に	9.16	朝日
核実験の一時停止要求 五大国声明案	9.16	中国
日米高校生 平和語る 国連で初会議	9.18	中国
もんじゅ廃炉を協議 きょう関係閣僚会議	9.21	中国
雨水 地下展示室に 平和資料館 再開めど立たず	9.22	朝日
核廃絶へできることを 国際平和デー 被爆者や若者訴え	9.22	中国
原子力政策 根幹ゆらぐ もんじゅ廃炉 年内結論	9.22	中国
政府、核燃サイクルは維持	9.22	中国
もんじゅ廃炉へ 核燃サイクル見直しを（社説）	9.23	中国

## 【 ご 案 内 】

### ■ 中国人受難者を追悼し平和と友好を祈念する集い

◇開催日 10月16日（日）13時30分～14時30分

◇場 所 中国電力安野発電所「安野 中国人受難之碑」前

### ■ 広島県平和運動センター第22回定期総会

◇日 時 10月24日（月）17時30分～19時30分

◇会 場 自治労会館3階大会議室

### ■ 狭山事件の再審を求める市民集会

◇日 時 10月28日（金）13時～

◇場 所 東京・日比谷野外音楽堂

◇内 容 集会とデモ行進

### ■ 「広島朝鮮初中高級学校チャリティーコンサート・金剛山歌劇団 広島公演」

◇日 時 11月14日（月）18時30分～

◇場 所 広島文化学園HBGホール<広島市文化交流会館>

◇チケット代金 一般2,000円

※チケットのお申し込みは、広島公演実行委員会（事務局：平和運動センター）へ。ご協力よろしく申し上げます。